

# 市長提案説明要旨

令和元年12月6日

本日ここに令和元年第4回鹿嶋市議会定例会の開会に当たり、市政運営に関する所信の一端と、当面の事業概要並びに提出しました議案等の説明を申し上げます。

## 《はじめに》

### (国内の経済状況)

内閣府が先に発表した11月の月例経済報告によりますと、「景気は緩やかに回復している」と、これまでの基調判断を維持しました。また、先行きについては、「消費税率引上げ後の消費者マインドの動向等に留意する必要がある」とし、元年度予算を着実に執行するとしています。

市におきましても、市政の着実な進展のため、限られた予算のより効果的・効率的な執行に努めてまいります。

### (秋の台風被害)

今年9月から10月にかけて相次いで発生し、かつて例のない猛威を振るった台風により、関東地方を中心に東日本の広い範囲で多くの被害を受けました。この災害により、亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に対しまして、心からお見舞いを申し上げます。

本市におきましても、長時間にわたる停電や断水が発生したほか、多くの建物や農業用施設等に被害が出るなど、市民生活に大きな影響がありました。被災された住宅や農業施設等の復旧支援につきましても、国・県の制度を有効に活用し、鋭意、対応にあたってまいります。

## 《事業の概要等》

続きまして、鹿嶋市のまちづくりの実績と当面の事業概要についてご説明申し上げます。

### (スポーツでつながるまちづくり)

9月から10月にかけて開催されました「いきいき茨城ゆめ国体」では、鹿嶋市で成年男子、少年男子のサッカー競技が開催されました。大会期間中は、選手・関係者・観客など約1万6千人をお迎えし、市内小中学生やボランティアの方々を中

心に多くの市民の協力を得て、大いに盛り上げていただきました。

中でも、中学生が中心となって行ったおもてなし料理や応援うちわなどの配布は、来場者からご好評をいただき、また、小学生による趣向を凝らした応援は、観戦に訪れた大井川茨城県知事からもお褒めの言葉をいただいたところです。

45年ぶりに開催された茨城国体は、市民にとっても大変思い出深い大会となったのではないかと思います。皆様のご協力に対し、あらためて感謝申し上げます。

東京2020オリンピック大会の聖火リレー、茨城カシマスタジアムでのサッカー競技の鹿嶋市開催まであと7ヶ月となりました。大会運営に関しましては、輸送関連等の基本的事項を決定し、現在、詳細部分を調整しております。万全な体制で開催できるよう、引き続き組織委員会及び県と連携し、準備を進めてまいります。

先般開催されましたラグビーワールドカップにおいて、ボランティアによるおもてなしが、選手や観戦者等から非常に高く評価されたのは記憶に新しいところです。本市におきましても、ボランティア研修や、鹿嶋市議会東京2020オリンピック推進調査特別委員会の提言を受けて開催した「外国人受け入れに関するおもてなし講習会」などを踏まえたオリンピック開催後のまちづくりにつながる事業展開を図ってまいります。

課題の一つとして挙げられている交通渋滞対策ですが、オリンピックまでの開通を目指して、国道51号バイパスの鹿島神宮駅北側の高架部を除く大船津北交差点からスタジアム北交差点付近までの区間で、暫定4車線化工事が始まりました。

また、来年のカシマサッカースタジアムで行われるJリーグ開幕戦では、スタジアム・潮来インターチェンジ間で、高速バスを優先的に走行させる社会実験も行われることになりました。

皆様には、ご迷惑をおかけすることになると思いますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### (未来を創るひとづくり・まちづくり)

11月23日、鹿行地区の子育て活動団体を応援するプロジェクトとして、「鹿行地区子育て活動団体交流会」が豊郷公民館で開催されました。

鹿行地区で、子育て支援活動団体が一堂に会するのは初めての試みでしたが、子育て支援活動をされているゲストの方の講演とともに、私も『鹿嶋市の子育て支援施策等』についてお話をさせていただきました。

行政と地域が一つになってこそ、充実した、より良い子育て支援につながっていくことをあらためて実感し、今後もこうした活動支援に取り組んでまいります。

本市の公立中学校3年生における、英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合が、国が掲げる目標の50%を大きく上回り、59.1%となりました。前年度から8ポイントも上昇しており、本市の積極的な英語教育の推進が成果として表われていると言えます。オリンピック開催時には多くの外国人観光客が来ることと予想されますので、子どもたちには是非、学んだ英語を生かす場として積極的にコミュニケーションを図ってもらいたいと思っております。

去る11月12日に笠松運動公園にて行われた茨城県中学校駅伝競走大会において、大野中学校が男子の部で見事優勝、また鹿島中学校が女子の部で4位に入賞しました。両校は12月1日に神奈川県で行われた関東大会に出場しましたが、残念ながら健闘及びませんでした。

なお、大野中学校男子においては、12月15日に滋賀県で行われる全国大会にも出場しますので、万全の体調で臨み、良い結果が残せることを期待しております。

### (地域資源を生かしたまちづくり)

鹿島臨海工業地帯の発展を支えてきた鹿島港が、昭和44年の開港から今年で50周年を迎え、11月2日には開港50周年を記念した式典が開催され、鹿島港の建設やこれまでの港の歩みを振り返るとともに、今後の展望等に対する期待などが紹介されました。

この鹿島港は、当時の政治家の先見の明や英断、多くの先人や住民の方々の並々な御理解、御協力などがあって建設されたものであるということは、あらためて言うに及びませんが、式典に参加して、これらのことを決して忘れることなく、鹿島港の発展に寄与していくことが私たちの責務であると、あらためて再認識したところであります。

引き続き、国・県・関係機関と連携し、鹿島港の次なる50年に向け、そして鹿島地域の経済活性化が図られるように邁進してまいります。

中心市街地活性化基本計画につきましては、これまで内閣府と協議を重ね、11月1日付で基本計画の認定申請をし、年内には認定をいただけるものと受け止めております。

認定後は、計画に沿って鹿島神宮周辺地区の活性化を推進してまいります。これは官民が連携して取り組んでいく計画であり、特に民間事業者の取組みが重要となります。市が出資するまちづくり鹿島株式会社においても、活性化の起爆剤とすべく鹿島神宮を中心とした新たな事業を計画しているところです。

今後も、事業者や市民の皆様と共通理解を深めていくとともに、民間事業者の取組みを促す環境整備に努めてまいります。

保育園や幼稚園，小・中学校の給食に，地元で水揚げされた良質な鹿島灘産水産物を提供しておりますが，今年度も9月と11月にシラスを使ったメニューを子どもたちに味わってもらいました。

また，9月にはJAなめがたしおさいによる恒例イベントの「新米祭り」が開催され，多くの方に鹿嶋市産米のアピールができたものと思っております。

引き続き，鹿嶋市産の農水産物の認知度向上及び地消地産を目指し，普及に努めてまいります。

本市の一大イベントである「第29回鹿嶋まつり」を，10月26日，27日に開催しました。昨年好評だった「鹿嶋 de ハロウィン」のほか，お仕事体験「かしまちワーク」，また屋外メインステージでのダンスフェスタ，キャラクターショー，アントラーズトークショーなど，大変盛況でした。

両日とも天候に恵まれ，「みんなのひろば」や「東京2020オリンピックPRイベント」も同時開催されたことから，延べ8万8千人を超える人出を記録したところです。今後も，催し物の協議を重ねながら，商工業の振興と地域の活性化に寄与してまいりたいと考えております。

鹿嶋市の冬の風物詩となりました「鹿島灘はまぐり祭り」ですが，今年は12月15日に開催を予定しております。

昨年は，これまで最多の2万7千人の方が海の幸を求めて会場に足を運んでいただきましたが，今年も，人気のバーベキューコーナーや地元特産品をその場で手軽に味わえる“鹿島灘のれん街”，模擬セリや遊覧乗船も実施する予定です。また，各種水産物の販売のほか，寒ヒラメの調理実演・振る舞いも予定しており，多くの方に楽しんでいただけるよう準備を進めてまいります。

市内商店街の活性化を図るため，来年2月1日から29日にかけて，鹿嶋市産の食材をテーマにしたグルメイベント「食のフェア・かしまち食べ物語」を開催します。

3回目となる今回は，「鹿嶋産生きくらげ」，「かしまし豚」に続き，本市の特産品である「鹿島だこ」を素材としたメニューを，市内16店舗で提供いたします。

今後もこのような取組みを進め，グルメのまち「鹿嶋」のイメージを定着させてまいります。

### **(市民と共に創るまちづくり)**

9月から11月にかけて，市内各地区で住民体育祭や公民館まつりなどが開催されました。準備から開催運営まで，地域の皆様が協力して取り組み，交流を深めていることは，地域の賑わいをつくるとともに，災害時なども含めて，みんなで力を合わせて，協力し合える地域の絆づくり，そのものであると感じています。

10月からは、まちづくり市民センターを会場に、コミュニティプランの策定をテーマに「まちづくり講座」が開催されています。この取組みは、市民活動によって洗い出された地域の魅力活用や課題の解決策をプランに盛り込み、豊かで住み良いまちづくりを推進する市民の活動計画を検討していこうとするものです。

講座には、各地区まちづくり委員や行政委員、各種団体に加えて、公民館職員など約120人が参加し、各小学校区のプランについてワークショップ形式によって講座が展開されています。来年2月2日に開催予定の「まちづくり市民大会」で活動成果が報告され、令和2年度からの本格的な策定作業につないでいただくことで、本市の「共創のまちづくり」はより一層推進されるものと期待しているところです。

12月8日、第5回目となる「鹿嶋市第九交響曲コンサート」が、鹿嶋勤労文化会館で開催されます。市民が一体となる芸術文化活動は、世代の枠を超えた地域文化の醸成に寄与するものと考えております。

市民の皆様におかれましては、8月から練習を重ねてきた市民によるKASHIMA第九の会合唱団の成果を、是非ご堪能していただきたいと思っております。

### (住んで安心のまちづくり)

地域防災力向上の取組みとして、先月10日、武井地区で住民避難力強化事業を実施し、逃げ遅れ「ゼロ」を達成するための適切な避難行動を学んでいただきました。

また、17日には、平井地区防災訓練と同時に「鹿嶋市避難所運営訓練」や「ボランティアセンター開設訓練」を実施しました。当日は、市消防団をはじめ、自衛隊、消防署、社会福祉協議会、青年会議所などのご協力をいただき、災害発生から避難経路、避難所及びボランティアセンターの開設・運営までの流れを体験していただくなど、総勢約1,100人の参加がありました。

今後も、各地区公民館単位で避難所運営訓練等を実施するなどして、地区住民同士の相互協力体制の緊密化や住民一人ひとりの防災意識の高揚を図り、地域の皆様や関係団体等との連携のもとに、災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。

現在、市内には17の自警団が組織され、約1,700人の市民による安全・安心パトロールなど、さまざまな防犯活動の取組みが地域ぐるみで行われています。

去る11月16日には、鹿嶋市自警団連絡協議会主催による「第14回安全・安心まちづくり鹿嶋市民大会」が、まちづくり市民センター体育館で開催され、関係者約250人の参加をいただき、国道51号バイパスでの啓発パレードなども行われました。

今後もより一層の連携を図り、市民の防犯意識を高め、安全で安心して生活でき

る地域社会の実現に向けて取り組んでまいります。

### (自立した信頼のあるまち)

現在、新年度の予算編成を進めているところですが、市の財政運営は、市税収入が伸び悩む中、国の社会保障制度改革や子育て支援施策、オリンピック対策、公共施設の維持管理・老朽化対策などによる歳出増が見込まれ、極めて厳しい状況が続く見通しです。

新年度予算編成においては、第三次鹿嶋市総合計画・後期基本計画を始めとする各種計画の着実な推進、まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標達成に向けて重点化すべき事業の慎重な選定など、持続可能な財政運営とするために、適切な予算規模となるよう大胆かつ抜本的な見直しを行ってまいります。

以上、まちづくりの実績と当面の事業概要についてご説明申し上げます。

### 《提出議案等》

次に、提出いたしました議案についてご説明申し上げます。

提出議案は、予算関係議案が4件、条例関係議案が7件、人事関係議案が1件、道路関係議案が3件、指定管理関係議案が2件、その他の議案3件、報告議案が3件、合わせて23件であります。

まず、予算関係議案は、令和元年度の一般会計及び特別会計などの補正予算であります。

一般会計補正予算については、冒頭にもお話しした台風15号等により被災した住宅や農業用施設への復旧支援事業のほか、自立支援給付事業、生活保護扶助経費、中学校大規模改造事業などを計上しております。

国民健康保険特別会計補正予算については、システム改修委託料などを計上しております。

介護保険特別会計補正予算については、介護予防サービス等諸費などを計上しております。

下水道事業会計補正予算については、下水汚泥処分委託料を計上しております。

条例関係議案は、新たに制定するものが1件、改正するものが6件であります。

新たに制定する条例は、鹿嶋市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例であり、改正する条例は、鹿嶋市産業活動の活性化のための固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例などがあります。

人事関係議案は、鹿嶋市監査委員の選任にあたり、議会の同意を求めるものがあります。

道路関係議案は、市道路線の認定についてなどです。

指定管理関係議案は、鹿嶋市宮鹿島神宮駅西駐車場の指定管理者の指定についてなどがあります。

その他の議案は、鹿行広域事務組合理約の変更についてなどがあります。

報告議案は、専決処分の報告であり、台風等の自然災害への対応に係る令和元年度一般会計補正予算及び令和元年度農業集落排水特別会計補正予算であります。

私の説明は以上で終わりますが、予算以外の議案については、担当の総務部長から補足説明をいたします。

お手元の議案書によりご審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願いいたします。